

自主防災

大規模地震に備えるためのコミュニケーション紙



「自主防災」新聞 第25号～第36号縮刷版

はじめに

「自主防災」新聞は、昭和63年6月に発足した静岡県自主防災組織活動推進委員会における主要な事業の一つとして、同年9月に第1号を創刊して以来、自主防災組織を通じ各世帯に配布される防災情報コミュニケーション紙として、毎年度4回発行し、本年3月に第36号を発行するに至りました。

この間、単色刷りからカラー刷りに変更し、発行部数についても、自主防災組織や防災関係機関など各界からの強い希望により、順次発行部数を増やし、平成6年度からは全戸配布できるようになり、現在123万部を発行いたしております。

推進委員会では、単に自主防災組織に対して情報を提供する機関紙的な紙面にとどまらず、広く県民の皆様が地震の基礎的知識を習得するための記事や防災の基本ともいえる家庭内対策の呼び掛け、「自分の命は自分で守る」「自らの地域は皆で守る」ための具体的な方策、県民の皆様からの投稿記事等を掲載し、「大規模地震に備えるためのコミュニケーション紙」としての紙面づくりに腐心されております。

さらに平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災による教訓を生かした記事や訓練の呼び掛け、自主防災組織のより実践的な行動を呼び掛ける記事など常に新たな取組をいたしております。

一方、阪神・淡路大震災により県民の防災に対する意識はさらに高くなりましたが、訓練への参加、家庭内対策の実施等まだまだ十分とはいえない状況もあります。

今回、「自主防災」新聞の第25号から第36号までの縮刷版を作成しましたので、日ごろの防災対策や自主防災活動の参考にされ、地域における防災力強化に御活用いただきたいと存じます。

平成9年3月

静岡県総務部防災局地震対策課長

花 岡 志 郎

●編集・発行／静岡県自主防災組織活動推進委員会 ●発行所／〒420静岡市追手町9番6号 静岡県地震対策課内自主防災組織活動推進委員会事務局 TEL. 054-221-2019

七夕豪雨による大災害の教訓を契機に自発的に自主防災組織が結成され、その後昭和五十二年の東海地表説の発表を受けて組織の育成強化が着実に図られてまいりました。現在では、県内全体で五千余の自主防災組織が活動しており、その区域もほぼ県下全域をカバーする状況となっています。

このようなかで、東海地震に備えるためのコミュニケーション紙として、静岡県自主防災組織活動推進委員会の御尽力によりこの新聞「自主防災」が発行されており、この第二十五号から、県内の全戸に配布されることとなりました。県民の皆様方に、本紙「自主防災」を積極的に活用され、東海地震に対する地域や家庭としての備えをさらに充実していただきたいと願っております。

さて、県では、昨年、「東海地震についての県民意識調査」を行いました。これによりますと、

静岡県では、昭和四十九年の七夕豪雨による大災害の教訓を契機に自発的に自主防災組織が結成され、その後昭和五十二年の東海地表説の発表を受けて組織の育成強化が着実に図られてまいりました。現在では、県内全体で五千余の自主防災組織が活動しており、その区域もほぼ県

下全域をカバーする状況となっています。

このようなかで、東海地震に備えるためのコミュニケーション紙として、静岡県自主防災組織活動推進委員会の御尽力によりこの新聞「自主防災」が発行されており、この第二十五号から、県内の全戸に配布されることとなりました。県民の皆様方に、本紙「自主防災」を積極的に活用され、東海地震に対する地域や家庭としての備えをさらに充実していただきたいと願っております。

東海地震への関心は高いもの

の、実際には、個人や家庭レベルでの準備などはまだ十分でない

という結果が表われています。

例えば、東海地震については、

全体の八八八%の人が関心を示しています。前回の調査時に比べて関心度は高くなっています。

しかし、残念ながら、「自主防災組織への加入については「入つ

ているかどうか分かららない」と回答した人が全体の約四分の一

を占めたほか、家庭の食料備蓄についても、県の指導している七

日分に対して二七日分に止ま

るなど、十分とはいえない状況

となっています。

昨年、県が実施した東海地震の被害想定によりますと、これまでに県や市町村が進めてきた震災対策事業の効果は大変大きいことが確認されました。現時点で東海地震が起つた場合は、地震予知がされた場合でも

四百人近い死者のほか、地震動

や地盤の液状化、火災や津波などにより、なお甚大な被害が発生

自主防災組織結成20周年を迎えて 自分たちの家庭と 地域は 自ら守る

静岡県総務部防災局長

井野 盛夫



生すると想定されたところであ

ります。

県としては、この東海地震に

よる被害をさらに最小限に保

持していくために、引き続き市

町村と一緒にして津波堤防や

避難地など地震防災施設の整

備を進めてまいりますが、こ

うした県や市町村の取り組み

だけでは限界があります。

どうか、県民の皆様方におか

れましては、「自分たちの家庭と

地域は自ら守る」という姿勢の

もとに、家庭の耐震診断と補強

家具の固定、出火防止、プロック

等の点検や改善、食料や飲料

水の備蓄、非常持出品の準備な

ど家庭内対策の推進と併せて、

地域の自主防災組織活動に積極

的に参加され、東海地震に対する備えを二層構造のものと

していただきまますと、心から

お願ひいたします。自主防災

組織結成二十周年の御挨拶とさ

せていただきます。

警戒宣言時には タウンページを見よう!



NTTのダウバージュ（静岡県版）の巻末近くに、家庭での地震対策や警戒宣言発令時の対応に必要なことがらが掲載されています。ぜひご覧ください。



WHEN THE WARNING DECLARATION IS ISSUED

警戒宣言が発令されたら

경계선언이 발령되면 QUANDO FOR EMITIDA A DECLARAÇÃO DE ESTADO DE ALERTA 如已发布警戒宣言

What You
Should
Do First!

火の始末

- 火を消す
- ガスの元栓を閉める
- 火を使う時は、そばにいて十分注意する



Fire Prevention

- Put out fires.
- Close gas stopcocks.
- When using a fire, stand beside it and pay attention.

불조심

- 불을 끈다.
- 가스관을 잠근다
- 불을 사용할 때는 옆에 있으면서 충분히 주의한다.

Previna incêndios

- Apague qualquer tipo de fogo.
- Feche torneiras de gás.
- Ao usar fogo, mantenha-se em frente, vigiando.

火的处理

- 灭火
- 关上煤气的总停止旋塞
- 用火时，请留在火旁充分加以注意

Check

非常持出品

●点検しましょう



●このほかにも必要なものがあれば家族で話しあい、そろえておきましょう。

食料・飲料水の備蓄・非常持出品の準備

突然地震が起きた時食料のた
くわえが全くなかつたら……

たとえお金があつても食料品店
やスーパーで一ヶ月で買つこ
とができます。また、地震が起
きた直後は、食料などの輸送も

三日分 程度を用意しておきま
しょ。食料——七日分 うち非常食

・主食／米、カンパン、インスタ

受けられるまでの間の食料や飲
料水は、各家庭でなくわえてお
く必要があります。

・副食／漬物、梅干、つくだい、
かんづなど。
・調味料／みそ／とうゆ、塩など。
・飲料水／一人につき一日三升
の水を最低二百分用意しておき
ます。これらはか日目的に使

満足にはいきません。救援活動が



津波シミュレーションをご覧になる両陛下

天皇皇后両陛下 ご視察 地震防災センター

天皇皇后両陛下が

四月十二日から十五

日の日程で静岡県を

ご訪問されました。

両陛下のご来静は二
十三年ぶり。第一日

は県庁にお立ち寄

りになった後、最初

の訪問施設として地
震防災センターをご

視察。

両陛下は井野盛夫

県防災局長の案内の
もと、館内をご熱心

に見学されました。

建物の制震構造や地球のフレ
ートを解説する実験装置・バネ
ルをご覧になった両陛下は、熱心
にご質問されるなど、防災対策に
深い関心を示されました。また

津波の激しさを実験で理解する

コーナーでは、北海道南西沖地
震の津波の到達時間などを質

問されました。静岡県民が日頃から防災への

備えを行なうよう、また地震防災

センターがそのための役割を積

極的に果たすよう頗るわれており

ました。

富士宮東高校の巻 モニタ校からここにちは

今回は、富士山の山中で地震を知
防災活動に積極的に取り組む富士宮東
高校地学物理学部を紹介。部長の高
澤一浩さんレポートしてもらいました。



う機械を使い、本校から北方向
の測線を観測します。六本の測
線のうち三本は富士川断層を横
断しています。この測線に沿
てレーザー光線を往復させ、距
離を測るのです。この方法では、距
離を測ることができます。観測は慣
れは二十分程度で終わりますが、
慣れない頃はなかなかうまくい
かず、一時間がかってしまった
こともあります。

観測結果は東大震研所で
行っています。では最初に、富士川断層の觀
測について説明します。富士川
断層は本校の東方約二キロメー
トルの位置にあり、東海地震が
起ころ際には、ここに変化が現
れる予想されています。

この観測には光波測距儀とい
う機器があります。各地の自主防災組織の活躍や
ご自宅でのユニークな防災対策
を紹介しますので、写真を添
てぜひご投稿ください。ユニー
クで楽しい原稿を待っています。

●原稿には住所・氏名・年齢・電
話番号を記入の上。

〒420 静岡市追手町九の六

県地震対策課地域防災スタッフ
あてお送りください。

○五四・二二一・二〇一九

News

「移動知事室」 賀茂村から

スタート



知事が県下全市町村に出向いて
県民の要望や意見を聴くため

の「移動知事室」が、五月二十
六日から開催され、そのスター
トとなる賀茂村での様子が衛星

通信を利用して全国に中継され
ました。この中で、賀茂村浜川
東自主防災会全長の鈴木吉久氏
が、自主防災組織活動のマンネ
リ化を目指す。

これに対し知事から、「イメ
ージトレーニング」という新し
い手法による訓練方法を取り入
れ、訓練をより実践的なものと
して各地の自主防災活動に波及さ
せたい旨の回答がありました。

地で実際に起きた地震を体験で
地で実際に起きた地震を体験で

Watching

防災体験学習空間へ東京都立川防災館を見る

「地震や火災など災害のほんとうの姿

を知り、その行動方

法を楽しみながら学

ぶことを目的に生まれた
体験学習空間。それ

が立川防災館です。まず、館の

予備知識の説明を受けた後、体

験カードをもらいます。このカ
ードは各コーナーを体験し、そ

の結果自分の防災能力が評定で
きるよう仕組まれこれから参

考に持ち帰ります)になっています。

最初の防災ミニシアターでは、

ブランチリームの前に、ドー
ムをスクリーンし、地震が起

きた街の状況を、迫力満点の画
面と臨場感たっぷりのサウンド

で再現。地震の怖さ恐ろしさを

十二分に教えてくれます。

東海地震説が叫ばれて十八年。
私たちは地震の怖さをもつと知
り、イヤというときに行動でき
る構えと、訓練を積み重ねる
ことによって、身が守られるよ

うことを再認識すべきではない
と思います。

（小笠原 登雅美委員）

静岡県の地震対策行事 ごあんない

あなたの街で
その場で参加!

今年は、静

■10月1日(金)～10月10日(日)10日間
「津波対策推進旬間」の設営

この紙面の2面(も詳しく述べ)

案内していますが、平成6年度

から新しく「津波対策推進旬間」

が設置されました。

積極的に「津波」の避難訓練に

参加しましょう。

■9月1日(木)

平成6年度

静岡県総合防災訓練

毎年九月一日には、県ぐるみ

の総合防災訓練が実施されます。

この日は東海地震の予知か

しょ。

■11月1日(火)～11月30日(水)

地震防災強化月間

十一月は、県民の地震防災に

対する意識の高揚と家庭内対策

の推進をめざす強化月間です。

スタート日の十一月一日(火)

には、県内主要駅にて、駅構内キ

ヤンベーンか、そして十一月二

十三日(水祝日)には、自主防災

組織結成二十周年記念大会が、

静岡市民文化会館で開催され

ます。

また、最終日の十二月三十日

(水)には、静岡県地震防災セン

ターナーとして、個別テーマを「地域の特

性に合った自主防災活動をもう一

度見直す」「自主防災組織が

より生きた活動をするために」

と決めました。

県民の皆様のご意見を盛り込

みながらテーマの実現に向けて

活動して行きたいと考えておりますので、よろしくお願ひいた

します。

あなたの参加をお待ちしてい

ます。

■12月4日(日)

平成6年度

静岡県地域防災訓練

毎年十二月の第一日曜日は

「地域防災の日」です。突発地震に

備え、自主防災組織が中心となつて実践的な訓練を実施します。

あなたの参加をお待ちしてい

ます。

■1月1日(木)

平成6年度

静岡県総合防災訓練

毎年九月一日には、県ぐるみ

の総合防災訓練が実施されます。

この日は東海地震の予知か

しょ。

■1月1日(火)～1月30日(水)

地震防災強化月間

十一月は、県民の地震防災に

対する意識の高揚と家庭内対策

の推進をめざす強化月間です。

スタート日の十一月一日(火)

には、県内主要駅にて、駅構内キ

ヤンベーンか、そして十一月二

十三日(水祝日)には、自主防災

組織結成二十周年記念大会が、

静岡市民文化会館で開催され

ます。

また、最終日の十二月三十日

(水)には、静岡県地震防災セン

ターナーとして、個別テーマを「地域の特

性に合った自主防災活動をもう一

度見直す」「自主防災組織が

より生きた活動をするために」

と決めました。

県民の皆様のご意見を盛り込

みながらテーマの実現に向けて

活動して行きたいと考えておりますので、よろしくお願ひいた

します。

あなたの参加をお待ちしてい

ます。

■1月1日(木)

平成6年度

静岡県総合防災訓練

毎年九月一日には、県ぐるみ

の総合防災訓練が実施されます。

この日は東海地震の予知か

しょ。

■1月1日(火)～1月30日(水)

地震防災強化月間

十一月は、県民の地震防災に

対する意識の高揚と家庭内対策

の推進をめざす強化月間です。

スタート日の十一月一日(火)

には、県内主要駅にて、駅構内キ

ヤンベーンか、そして十一月二

十三日(水祝日)には、自主防災

組織結成二十周年記念大会が、

静岡市民文化会館で開催され

ます。

また、最終日の十二月三十日

(水)には、静岡県地震防災セン

ターナーとして、個別テーマを「地域の特

性に合った自主防災活動をもう一

度見直す」「自主防災組織が

より生きた活動をするために」

と決めました。

県民の皆様のご意見を盛り込

みながらテーマの実現に向けて

活動して行きたいと考えておりますので、よろしくお願ひいた

します。

■1月1日(木)

平成6年度

静岡県総合防災訓練

毎年九月一日には、県ぐるみ

の総合防災訓練が実施されます。

この日は東海地震の予知か

しょ。

■1月1日(火)～1月30日(水)

地震防災強化月間

十一月は、県民の地震防災に

対する意識の高揚と家庭内対策

の推進をめざす強化月間です。

スタート日の十一月一日(火)

には、県内主要駅にて、駅構内キ

ヤンベーンか、そして十一月二

十三日(水祝日)には、自主防災

組織結成二十周年記念大会が、

静岡市民文化会館で開催され

ます。

また、最終日の十二月三十日

(水)には、静岡県地震防災セン

ターナーとして、個別テーマを「地域の特

性に合った自主防災活動をもう一

度見直す」「自主防災組織が

より生きた活動をするために」

と決めました。

県民の皆様のご意見を盛り込

みながらテーマの実現に向けて

活動して行きたいと考えておりますので、よろしくお願ひいた

します。

■1月1日(木)

平成6年度

静岡県総合防災訓練

毎年九月一日には、県ぐるみ

の総合防災訓練が実施されます。

この日は東海地震の予知か

しょ。

■1月1日(火)～1月30日(水)

地震防災強化月間

十一月は、県民の地震防災に

対する意識の高揚と家庭内対策

の推進をめざす強化月間です。

スタート日の十一月一日(火)

には、県内主要駅にて、駅構内キ

ヤンベーンか、そして十一月二

十三日(水祝日)には、自主防災

組織結成二十周年記念大会が、

静岡市民文化会館で開催され

ます。

また、最終日の十二月三十日

(水)には、静岡県地震防災セン

ターナーとして、個別テーマを「地域の特

性に合った自主防災活動をもう一

度見直す」「自主防災組織が

より生きた活動をするために」

と決めました。

県民の皆様のご意見を盛り込

みながらテーマの実現に向けて

活動して行きたいと考えておりますので、よろしくお願ひいた

します。

■1月1日(木)

平成6年度

静岡県総合防災訓練

毎年九月一日には、県ぐるみ

の総合防災訓練が実施されます。

この日は東海地震の予知か

しょ。

■1月1日(火)～1月30日(水)

地震防災強化月間

十一月は、県民の地震防災に

対する意識の高揚と家庭内対策

の推進をめざす強化月間です。

スタート日の十一月一日(火)

には、県内主要駅にて、駅構内キ

ヤンベーンか、そして十一月二

十三日(水祝日)には、自主防災

組織結成二十周年記念大会が、

静岡市民文化会館で開催され

ます。

また、最終日の十二月三十日

(水)には、静岡県地震防災セン

ターナーとして、個別テーマを「地域の特

性に合った自主防災活動をもう一

度見直す」「自主防災組織が

より生きた活動をするために」

と決めました。

県民の皆様のご意見を盛り込

みながらテーマの実現に向けて

活動して行きたいと考えておりますので、よろしくお願ひいた

します。

■1月1日(木)

平成6年度

静岡県総合防災訓練

毎年九月一日には、県ぐるみ

の総合防災訓練が実施されます。

この日は東海地震の予知か

しょ。

■1月1日(火)～1月30日(水)

地震防災強化月間

十一月は、県民の地震防災に

対する意識の高揚と家庭内対策

の推進をめざす強化月間です。

スタート日の十一月一日(火)

には、県内主要駅にて、駅構内キ

ヤンベーンか、そして十一月二

十三日(水祝日)には、自主防災

組織結成二十周年記念大会が、

静岡市民文化会館で開催され

ます。

また、最終日の十二月三十日

(水)には、静岡県地震防災セン

ターナーとして、個別テーマを「地域の特

性に合った自主防災活動をもう一

度見直す」「自主防災組織が

より生きた活動をするために」

と決めました。

県民の皆様のご意見を盛り込

みながらテーマの実現に向けて

活動して行きたいと考えておりますので、よろしくお願ひいた

します。

■1月1日(木)

平成6年度

静岡県総合防災訓練

毎年九月一日には、県ぐるみ

の総合防災訓練が実施されます。

この日は東海地震の予知か

しょ。

■1月1日(火)～1月30日(水)

地震防災強化月間

十一月は、県民の地震防災に

対する意識の高揚と家庭内対策

の推進をめざす強化月間です。

スタート日の十一月一日(火)

には、県内主要駅にて、駅構内キ

ヤンベーンか、そして十一月二

十三日(水祝日)には、自主防災

組織結成二十周年記念大会が、

静岡市民文化会館で開催され

ます。

また、最終日の十二月三十日

(水)には、静岡県地震防災セン

ターナーとして、個別テーマを「地域の特

性に合った自主防災活動をもう一

度見直す」「自主防災組織が

より生きた活動をするために」

●撮影・発行／静岡県自主防災組織活動推進委員会 ●発行所／〒420静岡市追手町9番6号 静岡県地震対策課内自主防災組織活動推進委員会事務局 TEL 054-221-2019

訓練で築く安心 身の安全

9月1日(木)の 総合防災訓練に参加しよう。



九月一日(木)は「防災の日」。
県下で一斉に総合防災訓練が実施されます。

当日は、東海地震を想定して、
県、市町村、防災関係機関、
自主防災組織などが、警戒宣言の
発令から災害の発生までさまざま
な段階で、防災に備えた訓

練を行います。

訓練は、まず気象庁の地震観測データに異常が発見されたと
いう想定から始まり、午前七時
に「訓練・地震防災対策強化地
域判定会」が招集され、午前九
時内閣総理大臣から「訓練・
地震灾害に関する警戒宣言」が

発せられます。その後、一日が
経過したと想定して、翌日の午
前十時(実際には当日の)にマ
グニチュード8の巨大地震が発
生。県内全域が震度6以上とな
り、これらに対応したさまざま
な訓練を実施し、午前十一時五
十分に終了します。

今年度の訓練の重点は、
1 家庭内の安全確保訓練
2 津波、山・崖崩れ等危険予
想地域における避難訓練およ
び避難生活訓練
3 夜間ににおける対応訓練
4 中学生、高校生の参加を得
た訓練です。

また会場型の訓練は県と清
水市の共催により、「JR清水駅
東側会場」など五つの会場を中
心に、中学生が参加する津波か
らの避難訓練や洋上避難訓練な
ど実践的な訓練が行われます。

みなさんの住んでいる地域で
も防災訓練が行われますので、
積極的に参加してください。ま
た、家庭内でも安全を確保訓練を
実施してください。地震が発生
した場合は、まず身の安全を確
保し、素早く火の始末をします。

また、家具の固定や落卜物対
策、食料・飲料水の備蓄などの
チエック、避難路と避難地の確
認など、日頃からわが家の地震

対策を家族で話し合っておきま
しょう。

発せられます。その後、一日が
経過したと想定して、翌日の午
前十時(実際には当日の)にマ
グニチュード8の巨大地震が発
生。県内全域が震度6以上とな
り、これらに対応したさまざま
な訓練を実施し、午前十一時五
十分に終了します。

今年度の訓練の重点は、
1 家庭内の安全確保訓練
2 津波、山・崖崩れ等危険予
想地域における避難訓練およ
び避難生活訓練
3 夜間ににおける対応訓練
4 中学生、高校生の参加を得
た訓練です。

また会場型の訓練は県と清
水市の共催により、「JR清水駅
東側会場」など五つの会場を中
心に、中学生が参加する津波か
らの避難訓練や洋上避難訓練な
ど実践的な訓練が行われます。

みなさんの住んでいる地域で
も防災訓練が行われますので、
積極的に参加してください。ま
た、家庭内でも安全を確保訓練を
実施してください。地震が発生
した場合は、まず身の安全を確
保し、素早く火の始末をします。

また、家具の固定や落卜物対
策、食料・飲料水の備蓄などの
チエック、避難路と避難地の確
認など、日頃からわが家の地震

ひと口メモ

実際に警戒宣言が発令されると：

鉄道、バス、船は運転を中止、
道路は交通規制が行われ、一般
道路は時速二十キロメートル、
高速道路では時速五十キロメー
トルに制限されます。銀行、デ
パートなどは営業中止になります。
電気、ガス、水道、電話などは使
用できますが、できるだけ使
わないようにしましょう。

県民の皆さんへ

いつか必ず来る「東海地震」。
私たちは自分の身は自分で守る
事をまず第一に考えるなくては
ならないのです。地震の発生に
より、ライフライン(交通手段
や電気、ガス、水道、通信機能
など)に支障が生じ、私たち一
人ひとりが孤立する中で、平常
心をこれだけ持続できるでしょ
うか。そんな状況を想像してみ
てください。

自主防災組織とは、こうした
私たちが肩を寄せ合い、助け合う
集団です。私たち一人ひとりが
訓練に参加して組織の力を育て
なくてはなりません。近隣相互
が互いに手を取り合つて明日を
語るとき、他人のために何かし
なくてはならないと思う、助け
合いの心が生れるはずです。
県民のみなさん、大災害が来
た時に後悔しないように、自主防
災組織活動や訓練に積極的に参
加し、防火に対する心がまえを
強くしておきましょう!心がけてくだ
さい。

(岩崎秀美推進委員)

一人ひとりの力が集まれば、さらに
外国人のみなさまへ!

Participem do treinamento sobre
desastres naturais! Dia 1 Set.

¡Participemos en las prácticas generales de
prevención de desastres del 1º de setiembre!

Join in the General Disaster
Drill! Sept.1

大きな防災の輪が生まれる。

9月1日 総合防災訓練に参加を!

9月1日 参加を!

9月1日 请参加综合防灾训练。



県内の海岸のある37市町村で津波避難訓練を実施

今年から、新たに設けられた七月一日から十日までの「津波対策推進旬間」に合わせ、県内一斉の津波避難訓練が、海に面した三十七市町村で、七月八日を中心に行われました。

この訓練には、港や海水浴場海に近い学校などで約二万一千人が参加。当日の訓練の模様の一部を自主防災組織活動推進委員からレポートします。



●静岡市 3階への避難

静岡市

静岡市では、市立中島中学校で全校生徒四百四十五人が津波避難訓練に参加しました。同校は海の近くに位置し、安倍川左岸の津波危険区域内にあります。

富士市

最後に澤田校長先生は、「津波に対して自らの命を守る大切さが実感出来た。これからはさらには地域の自主防災組織の皆さんとも協力して対応して行きたい。」と話していました。

緊張したあとほっとした表情が印象的でした。

最後に澤田校長先生は、「津波に対する自らの命を守る大切さが実感出来た。これからはさらには地域の自主防災組織の皆さんとも協力して対応して行きたい。」と話していました。



●西伊豆町 岩谷への避難

西伊豆町

西伊豆町では、海水浴客を含む、総勢約三百七十人が参加して大浜海岸で避難誘導訓練を中心実施しました。

同報無線の音量が小さいこと、津波に対する自覚しかありません。誘導員は、ハンドマイクだけで教訓を生きるものであり、自主防と行政機関がタイアップした訓練はこれからも大きな力となつていくことでしょう。



●富士市 沖合へ漁船の避難



●西伊豆町 岩谷への避難



●沼津市 海岸からの避難



●沼津市 海岸からの避難

●西伊豆町 岩谷への避難

●沼津市 海岸からの避難

●

警戒宣言発令後の避難生活にそなえよう!

・沼津市での避難生活訓練実施体験から

東海地震の発生を警戒する警戒宣言が発令された場合、沼津や山・崖崩れの危険な想定地域に住む約三十三万人の県民は、あらかじめ市町村長が定めた避難地に避難し、避難生活を強いられることになります。

九月一日の県総合防災訓練でも、この避難行動と避難生活は、訓練重点項目の一つとなっています。そこで、沼津市防災指導委員会では、警戒宣言発令後の避難生活を実際に体験してみました。目的は、指導委員会のメンバー

自らが現実の避難生活を送ることにより、各町内の防災委員を指導するための知識を習得することです。

夕刻、高台の避難地に二十八人の指導委員が全員集合し、訓練を開始しました。人員報告、避難生活用テントの設置、運営本部、仮設救護所およびゴミ集積所の設営、発電機の運転、立入禁止区域の設定、通信訓練など、避難生活用テントの設置、運営二十三項目にわたる訓練を実施しました。特にテントの数の不足を想定して、車を利用した生活場所の確保も試みました。



・沼津市立入道公園

移動地震防災センター

地震防災センターだより

「移動地震防災センター」

セントー」を六月十二日に川根町民文化会館「チャリム(茶里夢)21」において開催しました。

川根 中川根 本川根の二町

から、百八十人のみなさんが集まり、地震防災展と現地見学を行いました。

地震防災展では、各種展示パネルと模型、非常持出品の実物などを見ながら、当センターのインストラクターの説明により、東海地震の発生のしくみ、予想される東海地震の推定震度や危険地域、必要な対策などについて学びました。

「夏休み親子防災教室」開催!

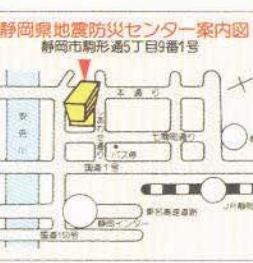
のシミュレーションを見たりしながら、地震のしくみと、防災対策について学習しました。

小学生を対象として「夏休み親子防災教室」が七月三十日、八月七日、二十日の三百回、それぞれ二十五組の親子を集めています。

既に行われた三十一日には、

開講式の後、静岡市中央消防署の協力で、はしご車の展示を見学しました。

小学校低学年の子供からは、既に行われた三十一日には、開講式の後、静岡市中央消防署の協力で、はしご車の展示を見学しました。



静岡県地震防災センター案内図
静岡市駿河通5丁目9番1号

「地震津波の監視と防災情報」

のシミュレーションを見たりしながら、地震のしくみと、防災対策について学習しました。

七月一日からスタートした「津波対策推進旬間」の一環として、七月一日、地震防災センターで「地震津波の監視と防災情報」をテーマにした公開講座が開かれ、県内防災関係者約二

百人が参加しました。

講師は、山形大学理学部の津村建四郎教授、津村教授は今年三月まで気象庁地震水山部長を務めており、気象庁の津波監視システムについて解説されました。

また、自らが体験した南海地震(昭和二十二年)の津波の話を交えながら、「震がなかなか収まらないゆくくりた大きな津波が発生する可能性が大きい」とことや「津波による

編集後記

北海道南西沖地震における津波被害の教訓から、新たに七月一日から十日までが「津波対策推進旬間」になり、今回はこの期間中において実施された津波避難訓練状況の一部を掲載いたしました。

昨年、第二次地震被害推定が公表され、その結果を踏まえ、各地域の実情に合った訓練が実践的に行われることによって、より一層の防災意識の高揚が図れると思います。このことからも、

地域の美情に合った訓練が実践的に行われることによって、より一層の防災意識の高揚が図れると思います。このことからも、

各地域の特色ある防災活動を紹介し、必要な防災対策や情報をお知らせしていくことを考えております。

ぜひ積極的に自主防災新聞に投稿して下さるようお願いいたします。

いざと言う時のために私の習慣



私の習慣

や服などは毎日同じ所に置いています。暗闇でも、うるさくなることがあります。

それと共に、自分でも良いなと思いつつあります。

それは、夜寝る時に枕中電灯を枕元の手の届く所に置いてお

くことです。

雷が鳴り、停電した時にも何

も慌てず次の行動に移ることが出来ます。東海地震に備えて、

特に、危険が予想される地域の人達にはお勧めしたい習慣です。

私は、昔の軍隊生活の習慣があるので、今もつて着るシャツ

地震防災標語 平成6年度入選作品

足になりました。

避難地では、寝具、水、食事、電気など日頃とは全くかけ離れた生活を大勢の人たちと共にでしめ、いざ地震という非常時を送らなければなりません。今回

の訓練の実施を通じて、あらかじめ想定地域との課題や

対応策を盛り込んだ「避難生活計画書」により、秩序ある安全な避難生活を図っていく必要があると改めて痛感させられました。

危険な想定地域をかかえる自主

防災組織の皆さん、地域特性に合わせた「避難生活計画書」を、

県の「手引き」をもとに、市町村防災担当者と相談しながら作成し、地域の住民が円滑で安全な避難生活を確保できるよう、ともに推進していくこではありますか。

防災は人と地域の輪で実る。

(沼津市防災指導委員会)

訓練で集く安心 身の安全

(佐伯作) 静岡市 石原りえ子

(佳作) 筧田市 小林余美子

「まさかよりもしものために防災訓練

● 地震防災強化月間用

『後秀作』

沼津市 梅浦敏夫

『後秀作』

沼津市 朝日出男

『後秀作』

沼津市 木戸義典

『後秀作』

沼津市 伊藤千葉

『後秀作』

沼津市 佐々木千葉

no. 27

平成6(1994)年11月1日

●編集・発行／静岡県自主防災組織活動推進委員会 ●発行所／〒420静岡市追手町9番6号 静岡県地震対策課内自主防災組織活動推進委員会事務局 TEL 054-221-2019

11月は地震防災強化月間



12月4日は地域防災訓練の日です。

家族みんなで参加しましょう。

あなたやご家族の生命を守るために質問です。答えられますか。
Q／「なんの前兆もなく、突然大きな地震が発生しました。まさあなたはどう行動しますか。A／まず第一番目に、身の安全を確保します。机の下に身を隠す、座布団やカバンなどで頭部を守ることなどが考えられます。地震が発生した時、自分がどういるか、その時の状況により対応が異なります。繁華街を歩いている時、車を運転している時、台所で食事の支度をしている時など、それそれどのような時をもします。たとえ火災が発生しても、初期の段階で的確に対処すれば火を消すことができます。

Q／「部屋には割れたガラスなどが散乱しています。どうしますか。」
A／裸足のままですとけがをしますので、スリッパを履いたり、場合によっては座布団や布団などをガラスの上にかけたりしてけがをしないようになります。また、家具などが倒れて避難のじやまになりませんか。家中を見回してみてください。家の中がとりあえず安全であればすぐに避難する必要はありませんが、津波や山崩れの危険があれば、一刻も早く避難する必要があります。

夜間は停電して真っ暗になることもあります。懐中電灯を何ヵ所かに常備しておくと役に立つでしょう。みなさんは正しく答えられましたか。この質問をご家庭や近隣の方々にもするなどして、正しい知識を周囲にも伝えましょう。そのことが火災の延焼を防ぐなど、回り回って自分の生命や財産を守ることにつながります。

地 震 一 ロ メ モ
防災訓練の種類について 静岡県では、毎年九月一日に予知できる大雨・地表(東海地震)を想定しての総合防災訓練を行ない、十月の第二日曜日(今年は四日)は緊急地震警報発信した地域防災訓練を行っています。家族みんなで参加ください。

「也長ケアー、ますから」

あなたの家は
家庭内地震対策あれこれ

■持ち出し品例

寝袋、毛布、手袋、下着、タオル、石鹼、ちり紙、バケツ、ビニール袋、ヘルメット、ロープ、ラジオ、食料、飲料水、印鑑、預金通帳、懐中電灯、マッチ、ロープ、救急薬品（糸創膏、脱脂綿、包帯、ガーゼ、三角巾、体温計、ヘンライト、ハサミ、ピンセット、オキシドール、アルコール、重曹、かぜ薬、胃腸薬、日薬）



●非常持出品は、家庭構成を考慮して最低限度のものを用意します。とくに救急薬品や乳児、妊娠婦の身の回りのものは必要不可欠。何を持ち出すか、日頃から家族で話し合って揃えておきましょう。

●非常持出品は、家庭構成を考慮して最低限度のものを用意します。とくに救急薬品や乳児、妊娠婦の身の回りのものは必要不可欠。何を持ち出すか、日頃から家族で話し合って揃えておきましょう。

非常持出品



非常持出品



このほかにも必要なものがあれば家族で話しあい、そろえておきましょう。

飲料水



東海地震についての県民意識調査によると、非常持ち出し用の食料を備蓄している家庭は四七%。また、県の指導に従つて三日分以上用意している家庭は二三%でした。飲料水を二日分以上備蓄をしている家庭は一六%にとどまっています。

ところが、「備蓄食料だけでは家庭全員が生活できると思ふう」数は?の問い合わせは平均四五日。備蓄食料の少ない家庭ほど生活可能日数を長めに考えている傾向があります。県では次のような指導を行っていますので、ぜひ参考にしてください。



家具の固定 落下物対策



②飲料水は一人につき一日最低三リットルが必要。冷暗所で保存する場合、夏は一週間、冬は一ヶ月を目安に交換する。

缶入りミネラルウォーターの保存期間は約二~三年。

倒れてきた家具やガラスの破片、ストーブの上においたやかんの湯などけが火傷を負いまし

た。地震防災訓練ではまず第一に、机やテーブルの下にでもない

どこで落物から身を守ること

を教わりますが、釧路沖地震の被

害結果にようて、落物対策の重

要性が改めて見直されています。

家の中の物を古様みてく

ださい。今、グラッときたら落

ちたり倒れたりしそうな物は

ありませんか? 被害を最小限

にするために、物が落ちない、倒

れない工夫を考えてみましょう。

③家具の上に物を入れるときは、の家具の上にテレビや物を置かない。

④窓ガラスには飛散防止用フ

ルムを貼る。

⑤窓ガラスには飛散防止用フ

ルムを貼る。

⑥窓ガラスには飛散防止用フ

ルムを貼る。

⑦窓ガラスには飛散防止用フ

ルムを貼る。

家具のとめ方の実例

質の高い家具は、裏面に金具でとめる

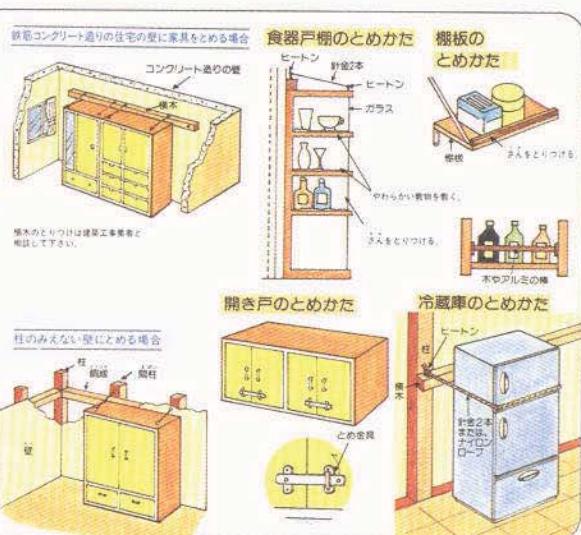
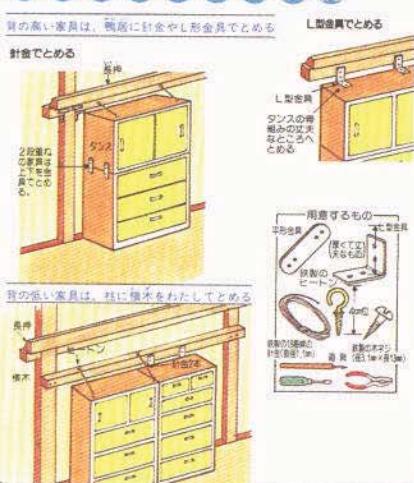
●食料・飲料水の備蓄量

7日分が必要。米・乾パン、アルファ米、即席ラーメン、ピスケット、ミルク、缶詰、梅干など保存がきく手軽な食

品を選べ。

平成五年の釧路沖地震(7・8)では、負傷者九百三十人のうちの大半が、

病気の早期発見は日頃の健康診断が大切だといいます。同じように、防災は日頃の備えや心がまえが必要。大切な家族と一緒に住まいを地震災害から守るために、自分たちで出来る「ケアーから始め



12月4日(日)は地域防災訓練に参加を

参加して高める地域の防災意識

十二月の第一日曜日は「地域防災の日」。

突然発生した地震を想定して、各家庭や地域での発生後の避難、消防、救護など、連の対応訓練が、主に次のような項目により行われます。

訓練項目

①家庭内の安全確保対策

②津波、山・崖崩れなど、危険予想地域における避難訓練

③夜間における対応訓練

④地域内の人材の協力を求めた訓練

⑤中学生、高校生、外国人の参加を得た訓練



特に、今年の地域防災訓練では、シナリオ型訓練が導入され、刻々と変化する状況に対応し、その時々でどう対応すべきか、的確な行動を取らなければならぬなどの点についてのチェックを行い、身をもってそれを確認しようとするものです。

左の表は、津波危険予想地域

における訓練の行動表のモデルです。
あなたも実際に地震が起きたとき、どのように行動すべきかを考え、ぜひ家族全員で訓練に参加しましょう。

震度5強の室内
予想される東海地震の推定震度は、県内各町村で最大震度6以上になります。従って実際の被害はこれ以上になるとも想われます。

- 柱・梁等の壁が破壊する。
- 窓等が落ちる。
- テレvisor・タapis等が倒れる。
- 戸・襖等が破壊する。
- 隣戸が変形する。
- 冷蔵庫が倒れる。
- シャンデリアが落ちる。
- 直立困難になる。
- 机の上の物が落ちる。

地震防災強化月間のスケジュール

十一月の地震防災強化月間を

11／17-18 全国津波サミット

11／20 自主防災組織結成・干闘

(西伊豆町健東地区セミナー)

年記念大会

(静岡市民文化会館)

11／29 東海地震シンポジウム

(富士市ロゼシアター)

11／1 主要駅構内キヤンペーン

エコ一葉書の発売

「自主防災」新聞発行

ラジオCM

11／13 移動地震防災センター

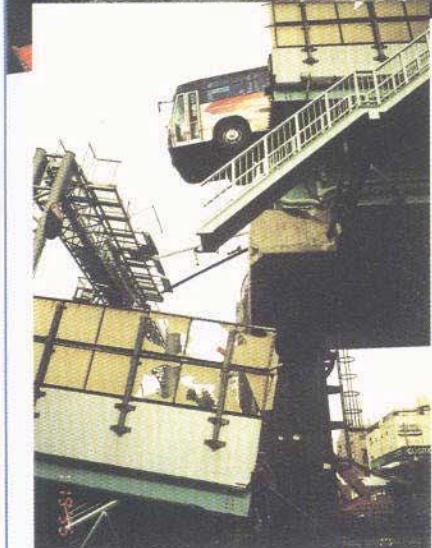
(大東町公民館)

おおながく

●編集・発行/静岡県自主防災組織活動推進委員会 ●発行所/〒420静岡市追手町9番6号 静岡県地震対策課内自主防災組織活動推進委員会事務局 TEL.054-221-2019



●神戸市東灘区阪神高速神戸線



●西宮市阪神高速神戸線



●神戸市国道2号線沿

さらに、現在は十一万五千余
人の人が不自由な避難生活を、
九百八ヶ所の避難所や公園など
のテントでしいられています。
(数字は三月一日現在です)

緊急総点検を実施

駿河湾から遠州灘にかけての
地域を震源域として起ること
が予想されている東海地震は、

今回の阪神・淡路大震災と同様
の被害の外、津波の被害も想
定されています。

これまで東海地震対策が進
められてきていますが、この地
震を機に、県はもとより、各市
町村、各自主防災組織、さらには
県民の皆さん、どうかこれ
ぞの地震灾害を他人事とせず、
東海地震を迎へ撃つ対策を実践
し、合わせて「自分の身は自分
で守る」ための準備をさらに充
実させてください。

このたびの地震災害により不幸にも亡くなられた方々のご
冥福を、心からお祈り申し上げます。
また、被災されました方々が一日も早く普段の生活に戻ら
れますようお祈りいたします。
なお、被災地への義援金や救援物資など、温かいご支援に
対し心からお礼申し上げます。



震度7の恐怖 直下型地震、阪神を襲う。



静岡県地域防災訓練

12月4日

『参加して高める地域の防災意識』

今年度の静岡県地域防災訓練が平成6年十二月四日㈯に実施されました。突然発生する地震に備え、市町村単位の自主防災組織を中心とした訓練を実施しました。

後、刻々と変化する状況に対応するシナリオ型訓練（新導入）等を通じ、参加者は改めて「参加して高める地域の防災意識」の訓練標語をかみしめているようでした。

その後、参加者は改めて「参加して高める地域の防災意識」の訓練標語をかみしめているようでした。

後、刻々と変化する状況に対応するシナリオ型訓練（新導入）等を通じ、参加者は改めて「参加して高める地域の防災意識」の訓練標語をかみしめているようでした。

沼津市

『小中学生も参加の防災訓練』



静岡市

『新聞自主防災会』



浜松市

『八幡町自主防災隊』



企業の自主防災訓練

河本防災隊長の挨拶

の後、後半の訓練が始まりました。

消防訓練では、消防

消火栓から消防車

消火栓へ

地域レベルで、東海地震の被害想定を知ろう！

皆さんの住まいになっている地域は、マグニチュード8と予想されている東海地震が起きたとき、「大丈夫でしょうか？」どの程度揺れるのか。津波はどの辺りまで襲ってくるのか。

このような被害予測を「地震防災センター」で知ることができます。これまで、展示コーナーでは、二〇万分の一の縮尺の地図（図1）で全県の被害想定の様子を展示していましたが、この四月からは二万五千分の一の縮尺の地図（図2）を画面で見ることができます。

これまで、展示コーナーでは、二〇万分の一の縮尺の地図（図1）で全県の被害想定の様子を展示していましたが、この四月からは二万五千分の一の縮尺の地図（図2）を画面で見ることができます。

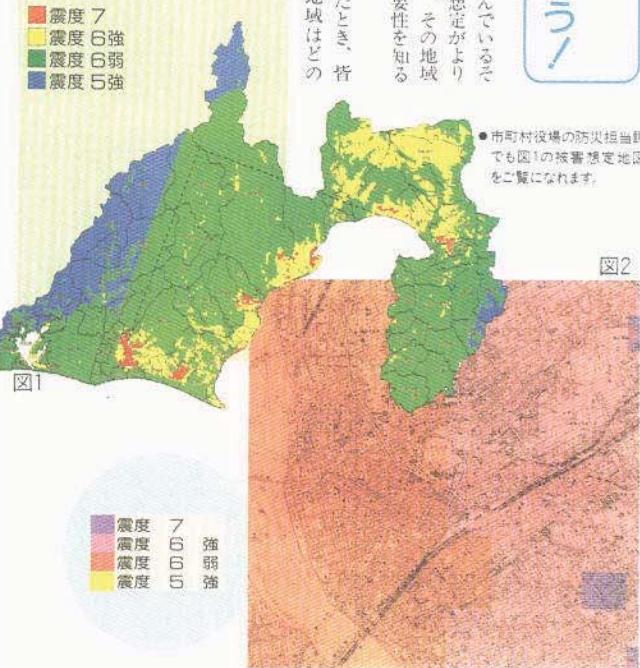
この結果、皆さんが住んでいる地域はどのくらい危険なのかを認識し、家具の固定や非常持出品の用意などを実行してください。

東海地震が発生したとき、皆さんの住んでいる地域はどうなことがあります。

くらい危険な避難地や避難道路の確認など、各家庭における地震対策をぜひ実行してください。

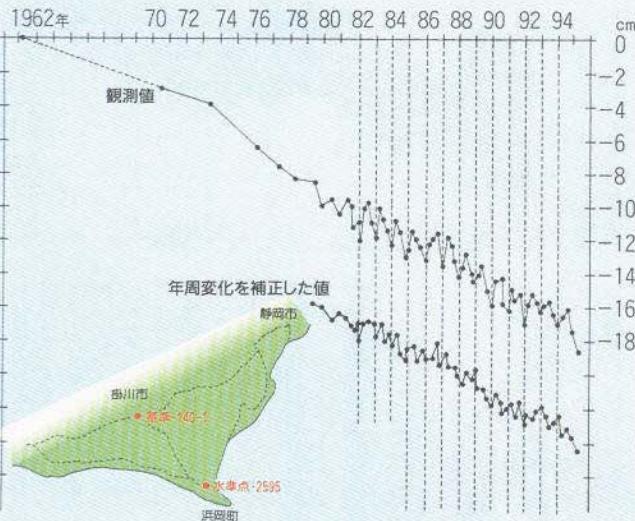
市町村役場の防災担当課でも図1の被害想定地図をご覧になれます。

図2



水準点2595(浜岡町)の経年変化

基準: 140-1 基準年: 1962年



わたしたちの“防災体験”

防災訓練に
参加した
中学生の声

今年度各地で実施された中学生防災講座では数多くの中学生が参加しました。日常生活では意識する機会の少ない「防災」について生徒たちが何を感じ、何を得たのか、参加した中学生の生の声を紹介しましょう。

「中学生防災講座に出席して」

（沼津三中） 勝又美恵
今までの私。それは「地震はとても恐いもの」と思うだけ日ごろにできる震災に対しても取り組みなんか考えたりもしませんでした。きっと心の中に、「私達の地域は大丈夫だろう」とか「地震なんかこないだろ」という甘い考えがあつたのだとおもいます。

これを改めなければならぬことを

とに気付きました。「地震は恐いもの」ただそれだけ理解していともいき地震だという時には何も行動に移せない』的確な判断もできない命にかかる

ことなので、大きな危険にさらされる心配も十分にあります。だから、この危険を避けるためにも甘い考えを改め、日々の取り組みを大切にしたいと思います。

最後に、突然起つた地震では、この十六倍位と言われます。そして、いつでも自分を自分で守れるようにしていったい」と思います。

春休みになつたお見舞いに行き、地震の被害も見て来ます

部長 山田 美穂子

モデル校から「こんにちは」

地震予知観測学習

県立韮山高等学校の巻
本校は、地震の裏である伊豆半島のつけ根の部分に位置しています。生徒の中には、数年前の海底火山の噴火で騒がれた東海岸の伊東などから通学している者も數十人います。

地震観測部の部員数は三年生十二人、一年生一人の計十三人です。活動内容としては、毎日、地震と気象に関する観測や、年に一度校舎などの常微振動を測定するための夜間観測を行っています。夜間に行うのは生活音などによる振動が波形に入ってしまうのを防ぐため、夜通

り波形が捕えられました。同級生から、「あんな地震が起つてもここは平気なの?」と聞かれ、「学校も心配ね。」と答えました。想定では学校周辺に液状化が起こり被災率が二十~二十五パーセントあるのです。

尼崎に一人で住んでいる祖母の家では、この地震で壁にひびが入り、エアコンが倒れたそ

編集後記

まさかと思われていた地域での直下型大地震は、高空を揺るがす大災害を引き起こしました。安全なはずの高速道路の崩壊、多くの犠牲者、ぐいとめることのできない延焼火災等々。予測をはるかに超えた事態に、改めて自然の脅威と人間の無力さを痛感しました。

懸念される東海地震の規模は、この十六倍位と言われます。備えも心構えも「見直し」を迫られていることを痛感します。そして、災害を最小限に食い止める準備こそが、私達の努力であるという気がします。

犠牲になられた方々の御冥福と被災者の皆様の一日も早いお立ち直りをお祈りいたします。



自主防线

東海地震に備えるための コミュニケーション紙

J I S H U - B O U S A I

no. 29

平成7(1995)年7月1日

●編集・発行／静岡県自主防災組織活動推進委員会 ●発行所／静岡県地震対策課 TEL 054-221-2019



近注 隣での助け合い

付近の住民も協力して崩壊家屋からの救出が行われた二神戸市灘区鹿ノ下通・1月18日午後1時半(神戸新聞社提供)

Action Program

アクションプログラムの主な項目

- ①災害発生に素早く対応
 - ・県、市町村職員の迅速な参集体制の確立
 - ・被害状況の把握と初期情報の収集、伝達
 - ②迅速に救助、救護、消火
 - ・自主防災組織、警察、消防の救出用資機材の充実
 - ・突発時の初期災害医療を行う救護体制の確立
 - ③きめ細かい被災者支援
 - ・健常な生活が維持できる避難所を確保
 - ・災害弱者に対する支援の充実
 - ④地震灾害に強い県づくり
 - ・建物、道路、ライフラインなどの耐震化の促進
 - ・行政、警察、消防などの防災拠点施設の耐震化の推進

予知型から突発型まで広げて直したといふことです。特に突発時における初動態勢のとり方や避難生活について、不安を感じている人が多かったようす。

の協力による救出活動も大いに期待されるところです。

「自分の命と地域は自ら守る」の原点に立って、いざという時に的確に対応できるよう、普段からの備えや地域での自防災活動に積極的に参加し、東海地震を迎えるに備え、対策をしましょう。

見や要望を取りまとめています。

県では、阪神・淡路大震災をはじめとする最近の地震災害の教訓を生かすため、これまでの地震対策を総点検し、五月十七日に「地震対策3000日アクションプログラム」を発表しました。平成七年度の残り約300日を目前に、緊急に対策が必要なものについて全力を擧げて取り組んでいます。具体的な項目は左記のとおりです。

また、市町村でも、いま地域住民の意見や要望を取りまとめています。

震災をきっかけに

アクション
スタート

既存・淡路大震災は、日本中の人々に地震災害への大きな教訓を残しました特に東海地震が予想される静岡県にとって、これまでの地震対策と意識のあり方を見直すべきになります。サハリン地震をはじめ、日本列島でも地震の揺れがひんぱんに観測されている今、私たちは早急に家庭内の対策や、自主防災組織を中心とした地域での対策を再検討して、必要な事がらは直ちに実行しなくてはなりません。



TO PROTECT YOUR LIFE IN AN EARTHQUAKE

地震から命を守るために



我が家の
耐震診断 補強または
避難計画を考える

자기 짐외 耐震 진단
 ● 보강 또는 피난계획을 생각한다
 我家房屋的抗震诊断
 ● 拟订补强或避难计划

Verifique a capacidade de sua casa resistir a terremotos

- Localize e reforce quaisquer pontos frágeis em sua casa e elabore um plano de evacuação.

Diagnóstico de resistencia al terremoto de su casa

 - Localice y refuerce cualesquier puntos débiles de su casa y prepare un plan de refugio.

Diagnosing Quakeproof Strength of Your House

 - Identify and reinforce any weak points in your house, and make an evacuation plan.

駿河湾北部、サハリン州、最近の地震について

四月十八日夜、駿河湾北部で地震が発生し、静岡市をはじめ幅広い地域で揺れを感じました。五月末にはロシアのサハリン州で大地震が発生し、阪神大震災や東海地震との関連を心配した県民も多かったようです。

これらの地震はどのように発生したのでしょうか…。

十六分、駿河湾北部でM5.1の地震（震源は由比町沖で震源の深さは24km）が発生し、静岡、小田原で震度4を観測したほか、太平洋の地方を中心にして範囲で有感となりました。その後十九日までに五個の余震が観測され、うち十八日二十時三十六分のM4.4の地震では県内を中心に有感となりました。

駿河湾北部におけるM5クラスの地震は一九三一年三月七日が、本年になってからは駿河湾中央部で微小地震が散発する程度で非常に静かでした。

しかし、四月十八日二十二時二

東海地震で震源域とされる駿河湾から遠州灘の海域では、本年になつてからは駿河湾

中心部で微小地震が散発する程度で非常に静かでした。

また、この地震は、駿河湾から沈み込むフィリピン海プレートに有感となりました。



「地震だ・津波だ・すぐ避難」／7月1日から

津波対策 推進期間

平成五年の三百人余の犠牲者が

が出た「北海道南西沖地震」の津波災害を教訓に、昨年度から七月一日から十日までの十日間を「津波対策推進期間」と定め

ており、今年で三年になります。

一日（土）には、海岸沿いの県下三十七市町村で、地震発生、津波警報が発令されたことを想定し、津波監視・警戒、避難誘導・救出・救援などの訓練を行います。（地域によっては実施日が異なる場合があります。）

想定される東海地震の津波による被害は、別表のとおりです。

毎年近くにお住まいの方は、自分の住居が津波危険予想地域にならっているか御存じですか。

確認されていない方は由田科役

場で確認しましょう。

これからシーサンズは海に出かけることが多くなりますが、海岸近くで、立つていられないほどの強い地震が起つた場合

または弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じた場合には、直ちに海岸から離れて、高台や避難地等に避難する

ようにして下さい。

焼津市での津波対策

焼津市は一千五百の海岸線を抱えている。予想される東海地震の津波対策について真剣に取り組んでおり、市内の各所に津波ラインが標示されている。

九三年七月に発生した北海道南西沖地震の際は、全自主防災長が奥尻島の被災状況を視察しました。奥尻島は背後に山地で高台のため避難地が比較的近くにあつたが、焼津市の場合は、背後に高台だけに津波襲来の場合浸水地域の拡大が予想される。ま

東海地震の人的被害想定結果（人）	
予知なし	予知あり
総人口	3,686,090
死者	2,574 *510
重傷者	9,300 *868
中等傷者	82,046 *3,630
計	93,920 *5,008
	27,920 *475

地震防災センターだより

今年の夏休みも、小・中学生を対象にした行事をいくつか開催します。親子で地震防災についての正しい知識を得ましょう。

行事	開催日時・対象
地震防災ボスター募集 ・小学生低学年の部 ・小学生高学年の部 ・中学生の部	募集期間 平成7年7月11日(火) ～9月8日(金) 【対象】小・中学生
地震クイズと映画会 ・地震クイズ ・16'ビデオの上映	平成7年7月22日(土) ～8月26日(土)の間の毎週土曜日 午前10：30～11：30～来館者 午後1：30～2回 【対象】個人（親子主体）
自由研究相談 地震や火山について （資料提供、質疑応答等）	平成7年7月22日(土) ～8月27日(日)の間の毎週土・日曜日 午前9時～午後4時 （開館時間で対応） ただし、7月30日、8月 6日・20日は親子防災教室実施のため中止 【対象】小・中学生
親子防災教室 ・はしご車の試乗（晴天の場合） ・非常備出品の説明 ・非常食作り実演 ・試食会 ・センター見学 ・地震クイズ	平成7年7月30日(日) 8月6日(日) 8月20日(日) 午前10時～午後3時 （雨天の場合は午後2時30分まで） 【対象】小学生と保護者 各25組(50名)先着順

- 開館時間／午前9時～午後4時
- 休館日／毎週月曜日、12月28日～1月4日
- 申込み・問合せ／静岡県地震防災センター ☎054-251-7100

新委員です。よろしくお願いします。

新委員を紹介します。

「地域の自主防災活動においてアンケート調査を取り入れるなど地域住民の声を大切にした活動を行っています（堤委員）

「転入者の多い地域にもかかわらず、地元住民と転入者を取りまとめ、工夫を凝らした訓練等による防災意識の高揚に努めています」（角ヶ谷委員）

自主防災組織活動 推進委員会から

取組・設路大震災の被災状況を目的にした時、東海地震や震災に取り組んでいる私たち推進委員は非常に大きな衝撃を受けました。来たる東海地震に対するため、自主防災組織の活性化等を目指して活動してきました

が、これまで地震発生前の対応が主で、地震発生後の対応についての検討があまりなされていません。今年度は阪神・淡路大震災をはじめとする最近の地震災害の教訓を生かして、発災後の対応策についても考えていきますのでよろしくお願いいたします。

最近の日本の主な地震		被害の状況
地震名	マグニチュード	
釧路沖地震	7.8	平成5年1月15日 死者1人、行方不明202人、全壊家屋567戸
北海道南西沖地震	7.8	平成5年7月12日 死者2人、行方不明29人、全壊家屋12戸
北海道東方沖地震	8.1	平成6年10月4日 死者2人、行方不明502人、全壊家屋1万戸
三陸沖はるか沖地震	7.5	平成6年12月28日 死者2人、行方不明2人、全壊家屋10万戸
兵庫県南部地震	7.2	平成7年1月17日 死者2人、行方不明2000人以上
*サハリン北部の地震	7.6	平成7年5月28日 死者1人、行方不明202人、全壊家屋12戸

また、発表では死者が二千人を超えたと報道しています。

6の地震はサハリン州で起きました。

さえた発表では死者が二千人超えたと報道しています。

また、発表では死者が二千人超えたと報道しています。

また

自主防災

地震災害に備えるための
コミュニケーション紙

JISHU - BOUSAI

no. 30

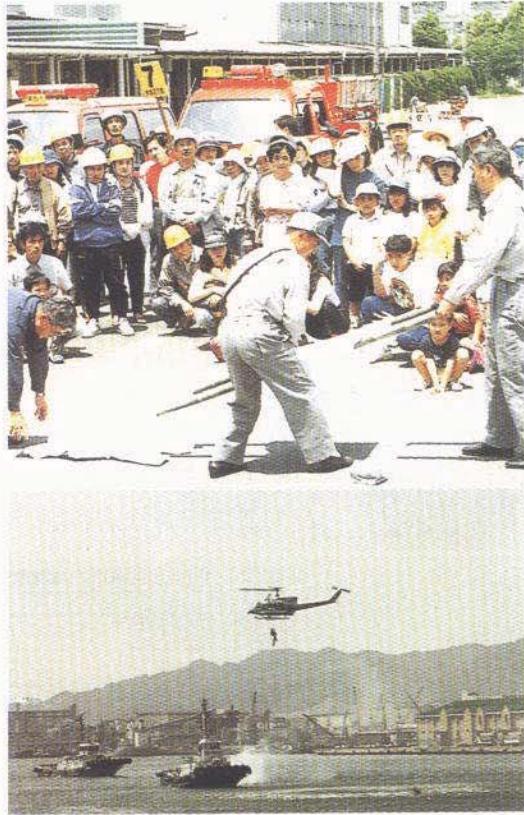
平成7年(1995)年9月1日

●編集・発行/静岡県自主防災組織活動推進委員会 ●発行所/静岡県地震対策課 TEL. 054-221-2019



安心は 日頃の訓練 日頃の備え

いま実感！ 参加の重み



今年度の訓練の重点

- 家庭内の安全確保訓練
- 津波、山・崖崩れ等危険予想地域における避難訓練及び避難生活訓練
- 地域ぐるみの訓練

阪神・淡路大震災での教訓を踏まえ、地域の人材を活用し、<近隣での初期消火><近隣での救出・救護訓練><被害状況の把握と初期情報の収集・伝達><ライフラインが使用できないことを想定した代替手段の確保訓練><家族ぐるみの避難生活訓練><高齢者、障害者、在日外国人等の災害弱者に配慮した地域ぐるみの訓練>を実施
- 小学生・中学生・高校生の参加を得た訓練
- 夜間ににおける対応訓練

時に内閣総理大臣から「訓練・地震災害に関する警戒宣言」が発せられます。その後、一日が経過したと想定して、翌日の午前九時三十分（実際には当日）にマグニチュード8の巨大地震が発生。県内全域が震度6以上となり、これらに対応したまま

訓練は、まず気象庁の地震観測データに異常が発見されたと想定から始まり、午前七時に「訓練・地震防災対策強化地域判定会」が招集され、午前九時五十分に終了します。

阪神・淡路大震災では、古い木造住宅や旧基準で設計された鉄筋コンクリート造建築物が倒壊し、多くの犠牲者が出了ことから、家屋等の耐震診断をしておきましょう。

地震が発生した場合は、まずは身の安全を確保し、素早く火の蔓延を止めましょう。

さまざまな訓練を実施し、午前十一時五十分に終了します。

また、今年度は、会場型の訓練としては初めて、磐田市の梅園公園をはじめ、福井町、竜洋町、農田町、農福村で広域的で実践的な訓練が行われます。

皆さんのが住んでいる地域でも防災訓練が行われますので、どんな危険が起こるかを正確に知って、積極的に参加してください。

9月1日 各地で総合防災訓練

始末をしましょう。

また、家具の固定や落下物対策、食料や飲料水などの備蓄のチェック、避難路や避難地の確認など日頃から我が家への地震対策を家族で話し合っておき、訓練で身をもって確認しましょう。

地震から命を守るために



TO PROTECT YOUR LIFE IN AN EARTHQUAKE



9月1日
総合防災訓練に参加を！

9月1日 종합방재훈련에 참가합시다!

9月1日 请参加综合防灾训练。

Participem do treinamento sobre desastres naturais! Dia 1 Set.

¡Participemos en las prácticas generales de prevención de desastres del 1 de setiembre!

Join in the General Disaster Drill! Sept. 1

지진에서 생명을 보호하기 위하여

从地震中维护性命的安全

PARA PROTEGER SU VIDA NUM TERREMOTO

Para proteger su vida en un terremoto



か?

っているか知っていますか?

危険地域に住んでいますか?

地と経路を知っていますか?

ありますか?

てありますか?

泉などはありますか?

ポンペなどの固定はしてありますか?

の危険を考えて配置していますか?

上のものは落下防止をしていますか?

てありますか?

ガスの元栓を閉める癖をつけていますか?

電物、懐中電灯を用意していますか?

役立ててみましょう。



ってみましょう。

どうぞお手本を参考にしてみてください。

ほうさいカード *わが家の地震対策チェック表*



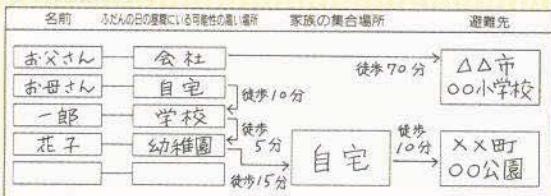
警戒宣言が出た時や地震が発生した時、だれが何をするか、家族の役割分担と行動表を作っておきましょう。

★家族の役割(突然の地震発生にも対応できるように)

内 容	名 前	内 容	名 前
ラジオ・テレビで情報を確認		消火器・バケツの用意	
火を消す		出入口を確保する	
ガスの元栓、プロパンガスポンペのバルブをしめる		非常持出品の確認	
危険物を安全なところに移す		すぐに戻ってこれない家族への伝言があれば書いておく	
電気器具のコンセントをぬく		子供や老人の世話	

ふだんから家具の転倒落防、窓ガラスなどの飛散防止対策、食料・飲料水の備蓄をしておきましょう。

★行動表の例



- 近くの山や崖、川、地、海を記入
- 近所の堤や電線など危険箇所を記入
- 商店の位置を記入



日頃から役割分担を決めておけば安心!

兵庫県の南部地域を襲った突然の激しい揺れ。それは1分にも満たなかつたが、揺れていた間は何もできなかつた。ガラスが割れて散乱し、素足ではとても歩けない。停電で部屋の中は真っ暗。そして家庭内でも地震対策のチェックをしてみましょう。地震は、私たちを襲うかわかりません。日頃からの備えと防災訓練が、いざという時モリをいります。9月1日の総合防災訓練にはもちろん参加。



津波対策推進期間／7月1日～10日
「まず避難！」を徹底

日に清水港富士見ふ頭で、港に関連する各企業と海員学校の生徒を中心として、消防、警察、海上保安庁等の参加を得て、津波避難や津波陸閘の閉鎖訓練、津波により冲合いに流された漂流者に対するはしご車や消防救助隊による救助・救出訓練が行われました。海で働いている人々だけに、訓練も本格的で真剣そのものでした。

はしご車や消防救助隊による救助・救出訓練二清水港富士見ふ頭で、津波避難や津波陸閘の閉鎖訓練、津波により冲合いに流された漂流者に対するはしご車や消防救助隊による救助・救出訓練が行われました。海で働いている人々だけに、訓練も本格的で真剣そのものでした。

津波に対する「まず避難」の命は自ら守る」「自らの地域は皆で守る」第一歩です。

津波 富士見ふ頭
津波避難訓練
練の統一実施日（七月一日）は思わず大雨で、県内各地に大雨警報が出されました。静岡市では、用宗老人福祉センターで津波ビデオによる研修と炊き出し訓練を実施。動員された職員が雨の中で津波門の閉鎖訓練を実施しました。

また、清水市では、七月十三日、御前崎港周辺で津波門の閉鎖訓練が実施されましたが、市から委託される付近の自治会の方々と、県御前崎土木事務所、町担当者、警察署等により、十一時の台風と

手動式津波門を開鎖＝御前崎港

手動式津波門を開鎖＝御前崎港

（県地震対策課）

（県地震対策課）

（県地震対策課）

東海地震や神奈川県西部の地震の被害が予想される静岡県民としては、本県を中心とした地震の様子が気掛かりなところ。五月の県内の地震活動は静穏な状態でした。六月に入って、東海地震の想定震源域となっている駿河トラフ周辺でM3クラスの地震が六回観測されたほか伊豆大島や新島・神津島周辺などに感震が多数発生

東海地震活動概況から
駿河湾周辺に注目

東海地震や神奈川県西部の地震の被害が予想される静岡県民としては、本県を中心とした地震の様子が気掛かりなところ。五月の県内の地震活動は静穏な状態でした。六月に入って、東海地震の想定震源域となっている駿河トラフ周辺でM3クラスの地震が六回観測されたほか伊豆大島や新島・神津島周辺などに感震が多数発生

伊豆大島では六日夜から七日未明にかけて島北部で有感地震が八回観測され、最大はM3・1。新島・神津島周辺近海は三日から五日と、「二十五日」にまとまりた活動があり、最大は四日のM3・3でした。

過去十二年間の駿河トラフ周辺でのM3以上の地震の月平均発生回数と比べると、六月は陸側が五回（平均は0・7回）、海側が一回（同0・1回）と大きく上回っています。

田市の計測震度計で震度1（微震）を記録しました。震源の深さをさかう見て、駿河湾から潜り込むフィリピン海プレート内部で発生したごみがれます。

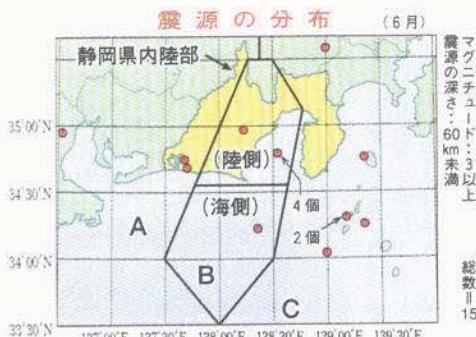
また、藤枝市付近で二十二日から二十三日にかけて三回の地震があり最大はM3・5、志太郡津幡町と伊豆の島行政センターで震度1を観測しました。

十九日昼と二十二日未明に地震が続発しました。最大はM3・1。伊豆大島では六日夜から七日未明にかけて島北部で有感地震が八回観測され、最大はM3・1。新島・神津島周辺近海は三日から五日と、「二十五日」にまとまりた活動があり、最大は四日のM3・3でした。

過去十二年間の駿河トラフ周辺でのM3以上の地震の月平均発生回数と比べると、六月は陸側が五回（平均は0・7回）、海側が一回（同0・1回）と大きく上回っています。

田市の計測震度計で震度1（微震）を記録しました。震源の深さをさかう見て、駿河湾から潜り込むフィリピン海プレート内部で発生したごみがれます。

また、藤枝市付近で二十二日から二十三日にかけて三回の地震があり最大はM3・5、志太郡津幡町と伊豆の島行政センターで震度1を観測しました。



M3以上の地震の発生状況					
地 域	A	B 陸 岸	B 海 岸	C	県内陸
6月の回数	3	5	1	6	3
平均回数*	3.9	0.7	0.1	8.3#	1.3

*: 1983年から1994年までの12年間の月平均回数
#: 75回以上の群発地震を除く



地学部では、これらのデータを使って、現在では地球の裏側で起こる地震も記録することができます。地学部では、これらのデータを使って私たちの生活する校舎が実際の地震でどのように揺れるかを研究しています。研究の本校の特徴は都市部にありながら、豊富な観測データを蓄積していることであります。先輩から引き継がれた観測方法を絶えず改良を加えてきた結果です。地殻変動に伴う地盤の傾斜は角度1秒まで測定することができます。本校でキャラッチャしてた地震波はパソコンを使ってフロービーに記録し、そこの地震数は数千個になります。現在では地球の裏側で起こる地震も記録することができます。

地学部では、これらのデータを使って私たちの生活する校舎が実際の地震でどのように揺れるかを研究しています。研究の本校の特徴は都市部にありながら、豊富な観測データを蓄積していることであります。先輩から引き継がれた観測方法を絶えず改良を加えてきた結果です。地殻変動に伴う地盤の傾斜は角度1秒まで測定することができます。本校でキャラッチャしてた地震波はパソコンを使ってフロービーに記録し、そ

非常持出や備蓄するものをそろえてありますか？



■非常持出品

- ×寝袋、毛布
- ×タオル
- ×下着
- ×手袋
- ×せっけん
- ×ちりがみ
- ×ビニール袋
- ×ヘルメット
- ×ロープ
- ×ラジオ
- ×食料
- ×飲料水
- ×印鑑
- ×預金通帳
- ×懐中電灯
- ×マッチ、ローソク
- ×現金

■救急薬品

- ×ばんそうこう
- ×脱脂綿
- ×包帯
- ×ガーゼ
- ×三角巾
- ×体温計
- ×ペンライト
- ×ハサミ
- ×ピンセット
- ×オキシドール
- ×アルコール
- ×重曹
- ×かぜ薬
- ×胃腸薬
- ×目薬

■備蓄するもの

- ×飲料水
- ×1人1日に3Lを最低3日分
- ×食料
- ×非常食3日分を含めて7日分
- ×米
- ×アルファ米
- ×乾パン
- ×インスタント食品
- ×ビスケット
- ×ミルク
- ×缶詰
- ×梅干し
- ×その他

部屋の中や地域について調べてみました

- ×家がどんな地盤に建つ
- ×津波や山・かけ崩れの危険地域の場合、避難
- ×家の耐震診断はして
- ×ブロック塀の点検は
- ×近所に危険な場所や電線
- ×家具やテレビ、ピアノ、ガラスの飛散防止は
- ×いざという時に火を消すこと
- ×枕元に緊急時の衣類や

★○×チェックをして防災対策

防災マップを作成

★家族の避難経路を色鉛筆で

いざという時
あわてないように
必要なことをメモして…



●わが家について

住所		
氏名	() -	
家のまわりの目標物		

●家族の連絡先

氏名	() -

●緊急連絡

消防署	電気
警察	ガス
病院	水道

- 避難地を記入
- 学校、近い場合は勤務先などを
- かかりつけの病院や薬局を記入

波打門の防災訓練が行われました。年配の自主防の方は、東南地震の際に過度に体験した津波を想起して、「あれ? こんなに大きな津波が来るようにならぬか?」と心配していました。現在部員は三十名です。私は地震と関するさまざまデータを観測し、自分で集めたデータを使って地震の研究を行っています。

本校の特徴は都市部にあります。豊富な観測データを蓄積していることであります。先輩から引き継がれた観測方法を絶えず改良を加えてきた結果です。地殻変動に伴う地盤の傾斜は角度1秒まで測定することができます。本校でキャラッチャしてた地震波はパソコンを使ってフロービーに記録し、そ

くら見えて、駿河湾から潜り込むフィリピン海プレート内部で発生したごみがれます。

また、藤枝市付近で二十二日から二十三日にかけて三回の地震があり最大はM3・5、志太郡津幡町と伊豆の島行政センターで震度1を観測しました。

伊豆大島や新島・神津島周辺などに感震が多数発生

ました。

昭和五十三年から地震モデル校として活動してきました。

現在部員は三十名です。私は

地震と関するさまざま

データを観測し、自分で集めたデータを使って地震の研究を行っています。

本校の特徴は都市部にあります。

豊富な観測データを蓄積して

いるのです。

また、藤枝市付近で二十二日

から二十三日にかけて三回の地震

があり最大はM3・5、志太郡津幡町と伊豆の島行政センターで震度1を観測しました。

伊豆大島や新島・神津島周辺などに感震が多数発生

ました。

伊豆大島では六日夜から七日未明にかけて島北部で有感地震が八回観測され、最大はM3・1。新島・神津島周辺近海は三日から五日と、「二十五日」にまとまりた活動があり、最大は四日のM3・3でした。

過去十二年間の駿河トラフ周辺でのM3以上の地震の月平均発生回数と比べると、六月は陸側が五回（平均は0・7回）、海側が一回（同0・1回）と大きく上回っています。

田市の計測震度計で震度1（微震）を記録しました。震源の深さをさかう見て、駿河湾から潜り込むフィリピン海プレート内部で発生したごみがれます。

また、藤枝市付近で二十二日

から二十三日にかけて三回の地震

があり最大はM3・5、志太郡津幡町と伊豆の島行政センターで震度1を観測しました。

伊豆大島や新島・神津島周辺などに感震が多数発生

ました。

伊豆大島では六日夜から七日未明にかけて島北部で有感地震が八回観測され、最大はM3・1。新島・神津島周辺近海は三日から五日と、「二十五日」にまとまりた活動があり、最大は四日のM3・3でした。

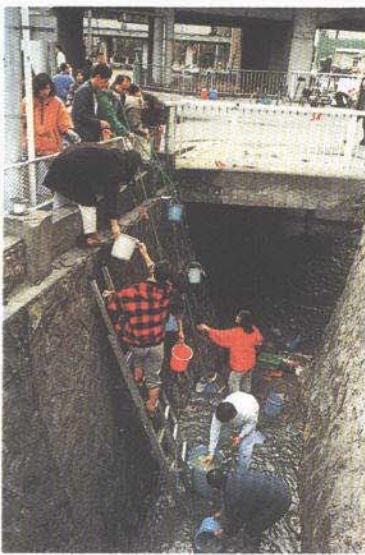
大きな傷跡を残した阪神・淡路大震災（二月、被災地を視察した自主防災組織活動推進委員に報告してもらいました）。

●人と人のつながりが大切
心に掛かる3つのことについて報告したい。

①阪神淡路大震災は私達に、防災の第一歩は家屋の耐震対策と家具の固定である事を再認識させた。建物の倒壊は個人の被害だけではない、地域社会の問題であることを教えてくれた。解決へ、具体的行動が必要に思う。

②避難場所となる公共の建物の安全性和住民数に見合ったうがあるかどうか等確認し確保しないかなければならない。高齢社会を考えし高齢者、障害者が生活しやすいという視点がほしい。町内で避難所生活体験をし、話し合う訓練も必要と考える。

③普段の隣組の付き合い、助け合い、良いリーダーの存在がいざという時に、防火や人命救助、避難生活の統率、改善等に大きな力を發揮した。人は一人では生きていけ



自主防災組織活動推進委員会から

被災状況を視察して

ない、人と人のつながりの大切なことをこの災害は私たちに教えてくれた。崩れつぶれる隣組のふれあい、町内会活動を建て直すことが重要課題である。避難場所となる公共の建物を活動の基盤にして地域の行事、ボランティア活動等を活発にしていくことが自主防災化に結びつくと考えます。（服部富子委員）

●「ひとつではない」

まず頭に浮かんだのは「ひとつではない」ということ。

これを機に「万一家に備え家庭で防災対策」を強く進めていきたいと思います。

①家の耐震診断・自分の安全度を知っておくこと

②家具の転倒防止、落し物の対策・タス、食器棚など倒れて下敷きにならないよう

③出火防止・火を使うところに消火器などの備え

④ブロック塀や門柱など安全かどうかを確かめる

⑤食料などの備蓄・水、食料など最低3日分

非常持出品の再点検などから見

るものすべて倒壊しているさまを見て、胸のつまり思いでいたしました。一日も早い復興を願うばかりです。

（前田玉枝委員）

●発災に対応できる訓練

阪神・淡路大震災の現状を我々の地域に重ね合わせてみると、今までの防災訓練で、今回の震災に対して対応出来ただろうか。

災害時に普通電話の混乱、途絶、また行政の勤務時間外の時の災害に、無線通信施設の活用は有効な情報手段であるが、アマチュア無線家を防災計画に組み入れ活動できるようにならうか。被災者は、情報から孤立し、「日本全国このよくなれば受けたのではないかと思った」と言っている。我々の地域は、同報無線があるから、常住民には被災の状況が伝えられるだろうが、強震に同報無線の柱が耐えられるであろうか。

バケツリレーで延焼を免れた記事を見るにつけて、防災訓練にバケツリレー訓練を実施していることが、災害時に機動力では対抗できないまでも効果的手段だと思う。

また、簡易トイレの設営訓練が組み入れられていないので今後の課題としたい。

か。避難所の開設、救助物資等の配分、ボランティアの受け入れ、ごみ処理問題、被災状況の調査など即座に対応出来るようにしたい。

（野沢正司委員）

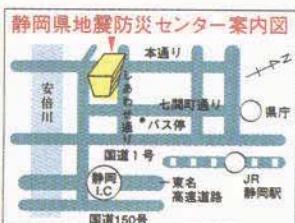
消防のための水が足りず、用水路から水を引いて運ぶ住民たち（1月17日前、神戸市灘区、共同通信社提供）

地震防災センターだより

学習、防災対策に活用を



プレートを説明したパネルの前で



・開館時間：午前9時から午後4時
・休館日：毎週月曜日、十二月二十八日～一月四日

平成七年度 地震防災標語入選作決まる

優秀作

佳作
優秀作
総合防災訓練用
優秀作
佳作
優秀作
地震防災活性化用
優秀作
佳作
優秀作
地震防災訓練用

アクションプログラム

78億円の予算

県では五月十七日に地震対策300日アクションプログラムを発表しましたが、実施のための補正予算を行い、約七十八億円の予算が組まれました。

具体的には、情報機能強化、

主防災組織に対する地域における救出力を高めるため、救出用資機材の整備に対する助成

が行われます。

また、このアクションプログラムの啓発パンフレットを七月

に作成、関係機関に配布しまし

た。反響が大きく増刷中です。

お問い合わせは県地震対策課地

域防災スタッフ（☎054-221-2019）まで。

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター（☎054-251-7100）までお申し込みください。

いずれも八月末まで）。新学期が始まってからも、ぜひご活用ください。

また、十月十八日（水）には

「平成七年度地震防災講座」が、

午後一時三十分から三時三十

分まで、避難所生活を調査、研

究した防災都市計画研究所の木

村拓郎所長を講師に招き、「阪

神・淡路大震災の教訓」をテ

マに語っていただきます。

対象は県、市町村防災担当者を中心にして三百人。一般の方で受講を希望する人は、静岡県地震

防災センター

自主防災

地震災害に備えるための
コミュニケーション紙

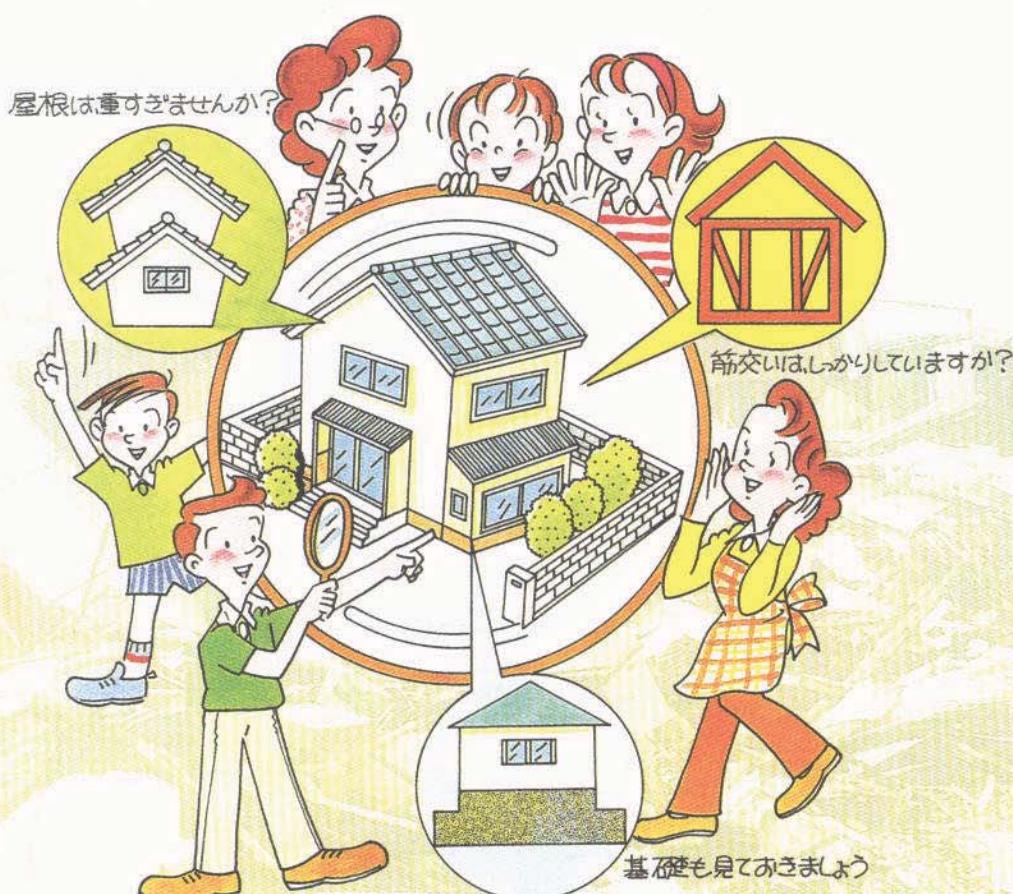
JISHU - BOUSAI

no.

31

平成7年(1995)年11月1日

●編集・発行/静岡県自主防災組織活動推進委員会 ●発行所/静岡県地震対策課 TEL. 054-221-2019



もう一度わが家を再点検

「安心を地域につなぐわが家の備え」
11月は地震防災強化月間です

阪神・淡路大震災から9ヵ月が経過しました。県内では伊豆半島東方沖での群発地震が気掛かりですが、先の震災での教訓を私たちの地域で再確認したいものです。11月は「地震防災強化月間」です。この期間中に家庭での地震対策をぜひ見直して下さい。

- ①住まいの耐震診断 阪神・淡路大震災では、約五千五百人の方が亡くなりました。このうち九割近い方が建物の倒壊による死亡であったと推定されています。自分が地震に耐えられるかどうか知つておくことは、重要です。次のページに、簡単な計算で木造家屋の耐震診断ができる方法が載っていますので、是非診断してみましょう。

- ②家具の固定・落下物対策 阪神・淡路大震災では、家具が転倒して、死傷したり延焼火災から逃げ遅れたは枕元にスリッパなどを置きましょう。寝室に家具を置かないと工夫をしましょう。

- ③ガラスの飛散防止対策 開いたガラスは刃になります。飛散防止フィルムをはっておきましょう。寝る時は枕元にスリッパなどを置きましょう。

- ④非常持出品 離乳幼児やお年寄りのいる家庭では持ち出物も多くなります。必要最小限の物を準備しましょう。

- ⑤食料・飲料水 発災直後、食料や飲料水の不足は深刻でした。食料は非常食三日分を含めた七日分を、飲料水は一人一日三リットルを三日分用意しておきましょう。

- ⑥出火防止 阪神・淡路大震災では、発生後時間が経てからも火災が起きます。避難するときは必ずブレーカーを落とし、ガスの栓を閉めましょう。

⑦ブロック塀や自動販売機の点検

- ブロック塀などが崩れると通行している人を傷つけたり、緊急車両などの通行にも支障をきたします。点検し、補強などの対策をしましょう。

⑧訓練参加と家族での話し合い

- 地域で行われる防災訓練に積極的に参加しましょう。また、避難場所や避難経路をあらかじめ確認し、落ち合う場所なども決めておきましょう。

- 十一月三日(日)各地で地域防災訓練が行われます。津波・崖崩れ・火災・家屋の倒壊など、地域の危険性をイメージしながら、どうしたら自分たちの命と財産を守れるか考えてみましょう。旦頃の付き合いと訓練がいざというとき助け合ひの行動につながります。

阪神大震災では、築三十年以上の木造家屋が大きな被害を受けました。三十年以内の木造家屋も、戦後三回行われた建築基準法の改正で耐震性は強化されていますが、絶対という保証はありません。住まいの地震対策を進めるためには、まず、我が家がどの程度の耐震強度を持っているかを知つておくことが大切です。家族みんなで協力して診断してみましょう。



●平面図を作成

壁の配置がわかる平面図を用意します（ない場合には右下図を参考に描いてください）。

●計算の仕方

①建物の一階の面積（二階建ての場合も一階の面積）を計算します。

②「たて方向の壁の長さ」と「よこ方向の壁の長さ」を右下図を参考にそれぞれ計算します。

③、④の結果のうち、短い壁の長さを一階の建築面積で割ります（左上の「計算例」参照）。

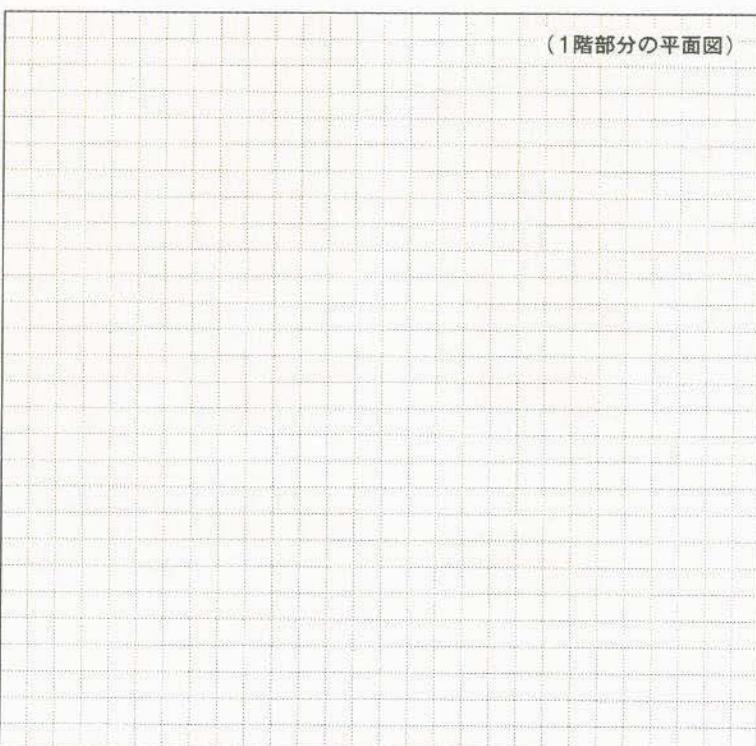
④「カルテ」の各項目について該当する数値に○をつけ（□欄は、③で算出した数値を当てはめる）、カルテの評点欄に、その数値を記入します。

★カルテの欄の「地盤」については、良い・岩盤、硬い砂礫層、砂利混じりの軟弱な土壌などとあります。

悪い・田畠や砂質を埋め立てる

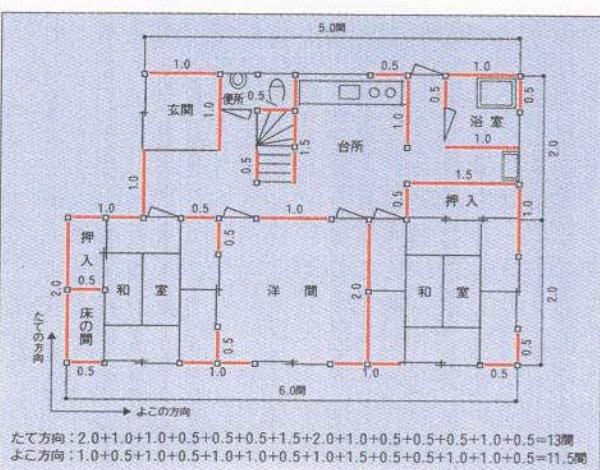
ステップ1 平面図を書いてみましょう

(1階部分の平面図)



(注) 1間を2マスの見当で描いてみてください。

※耐震診断のための平面図記入例



たて方向: 2.0+1.0+1.0+0.5+0.5+0.5+1.5+2.0+1.0+0.5+0.5+0.5+1.0+0.5=13間
よこ方向: 1.0+0.5+1.0+0.5+1.0+0.5+1.0+1.5+0.5+0.5+1.0+0.5=11.5間

ワンポイント・アドバイス

■家の足元にご注意を
いくら骨組みが丈夫でも家の足元がしっかりとしないと地震には耐えられません。足元をしっかりとするために、コンクリート製の一体となった基礎が必要です。柱が玉石基礎の上にのる旧式のものやコンクリートの一体となつた基礎でもひびが入つたものは、地震の揺れに耐えられません。また、木材の劣化にも注意して下さり腐朽菌による腐れと、白アリによる二つが原因です。雨水の処理をしてかりとし、床下の換気をするなどにより劣化を防ぐことができます。

伊豆半島東方沖で群発地震発生

最近の地震活動概況から